

## 2015 年（平成 27 年）の近畿地方の天候

### 1 .2015 年の天候の特徴

#### 気温

春までと 11～12 月にかけての “**高温**” が明瞭、夏は 2009 年以来 6 年ぶりの “**冷夏**”

近畿地方の月平均気温平年差（図 1）及び半旬平均気温平年差（図 2）によると、1～5 月にかけては、気温の変動があったものの高い傾向が続きました。このため、春（3～5 月）の気温は 3 位の高温となりました（統計開始：1946 年）。特に 5 月は移動性高気圧に覆われて晴天の日が多くなったことから、2 位の高温となりました。また、11～12 月にかけては、冬型の気圧配置が長続きしなかったため、高温傾向が続き、両月ともに 2 位の高温となりました。一方、夏（6～8 月）は、太平洋高気圧の西日本への張り出しが弱かったため、6 年ぶりに冷夏となり、低温傾向は 9 月中旬まで続きました。年平均気温は、平年差 +0.5 で高くなりました。

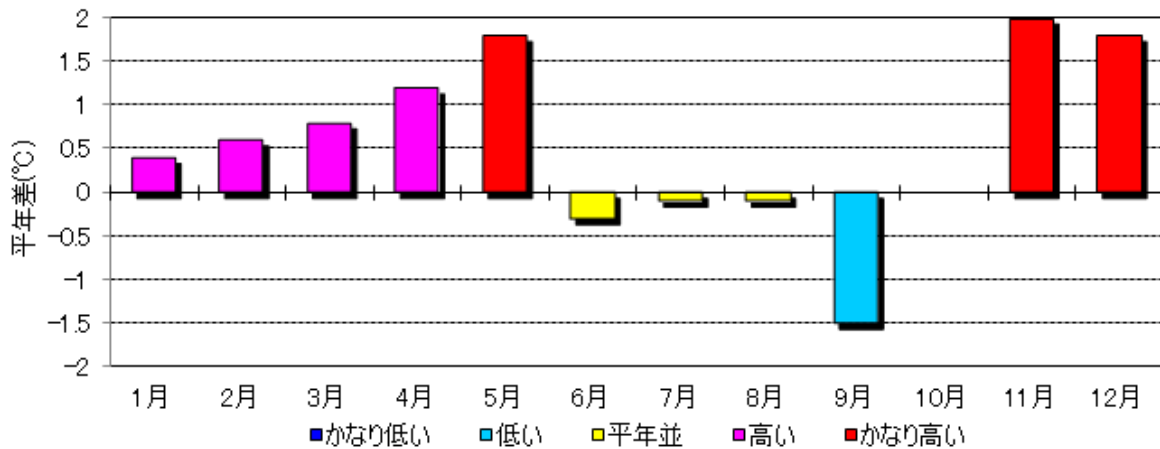


図 1：近畿地方の月平均気温平年差（2015 年）

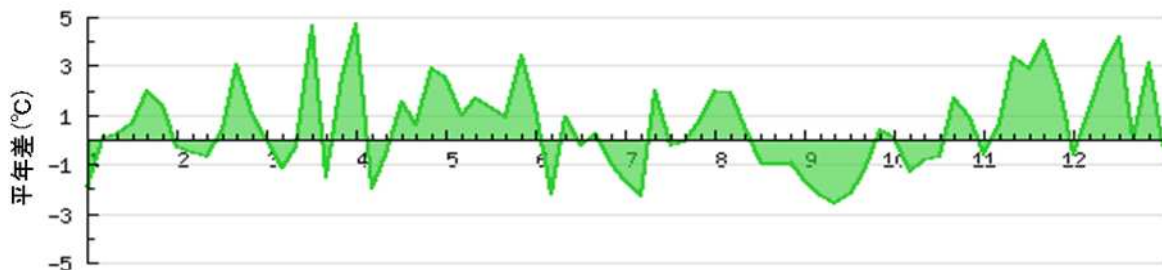


図 2：近畿地方の半旬平均気温平年差（2015 年）

近畿地方の地域平均は、気象官署等の以下 11 地点の観測値から求めています。  
「豊岡、舞鶴、彦根、京都、神戸、姫路、洲本、大阪、奈良、和歌山、潮岬」

## 降水量

太平洋側を中心に“かなりの多雨”、7月には台風第11号の影響で“記録的な大雨”

近畿地方の月降水量平年比（図3）によると、平年を上回った月が多かったことから、年降水量は平年比123%でかなり多くなりました。太平洋側では、梅雨前線や近畿地方に接近した3個の台風の影響を受けてかなりの多雨となりました。特に7月16日から17日にかけては、台風第11号が高知県に上陸後、四国から中国地方を北上した影響で、各地で日降水量の1位を更新するなど記録的な大雨となりました（図4）。

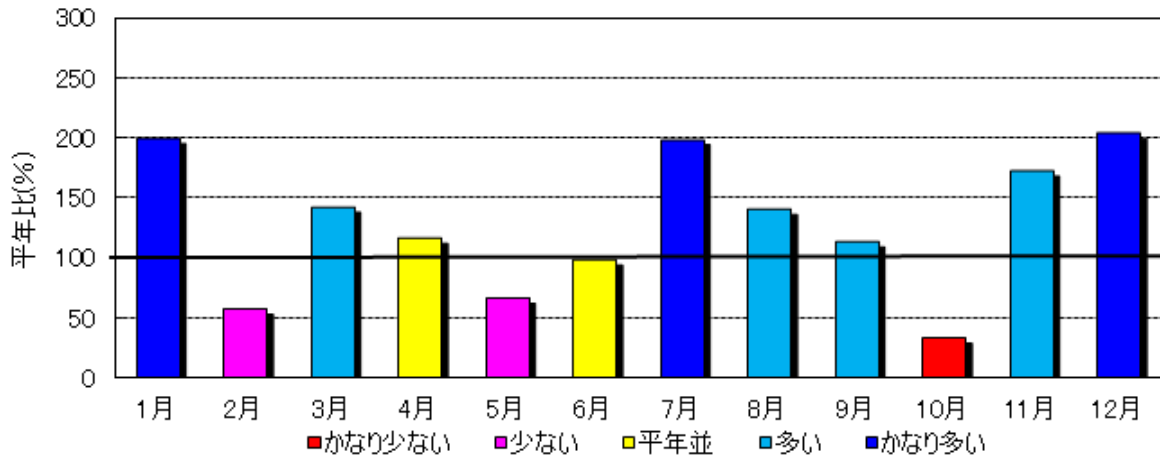


図3：近畿地方の月降水量平年比（2015年）

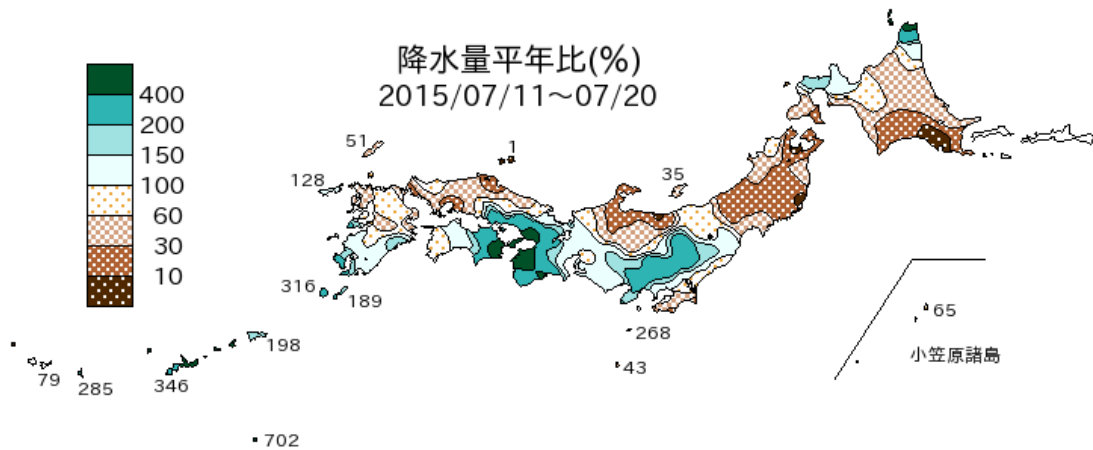


図4：降水量平年比（2015年7月中旬）

## 日照時間

年間を通しては“**寡照**”となるが、10月は“**1位の多照**”

近畿地方の月間日照時間平年比（図5）によると、平年を下回った月が多かったことから、年間日照時間は平年比99%で少なくなりました。また、8月中旬～9月上旬にかけては寡照のうえ、低温・多雨となって不順な天候となりました（図6）。一方、10月は帯状高気圧に覆われて晴天の日が続いたことから、1位の多照となりました（統計開始：1946年）。

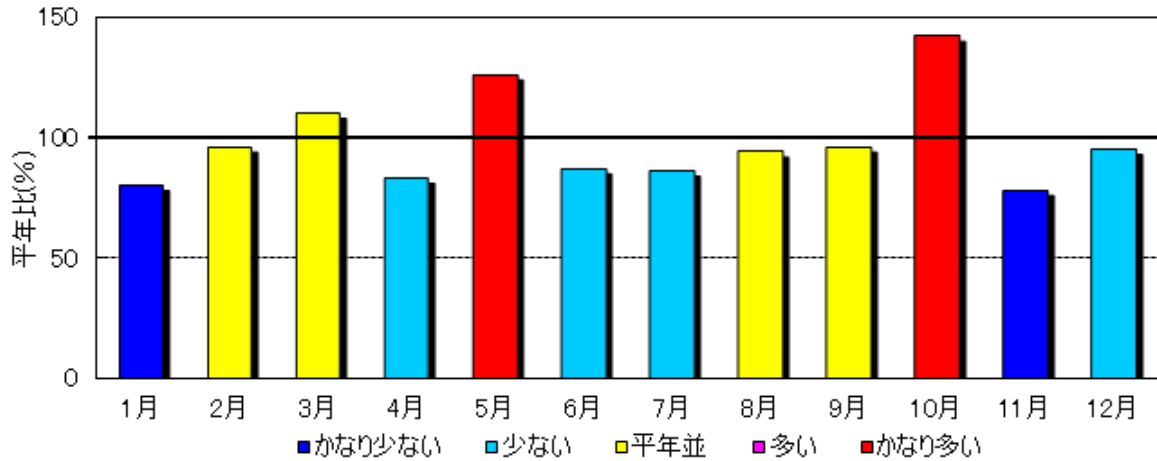


図5：近畿地方の年間日照時間平年比（2015年）

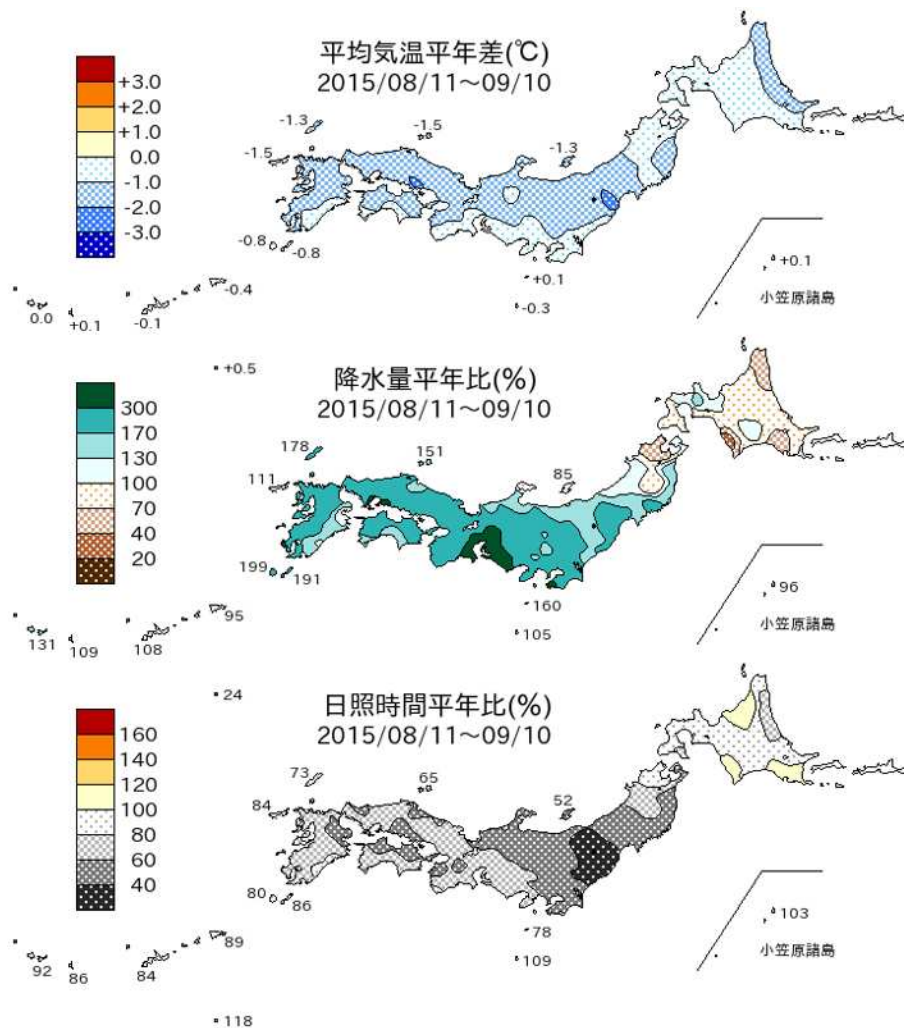


図6：気温、降水量、日照時間の平年差・比（2015年8月中旬～9月上旬）

## 各気象要素の統計値

表 1：近畿地方の地域平均平年差・比と階級（2015年）

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
1月	+0.4	+	200	++	80	--
2月	+0.6	+	58	-	96	0
3月	+0.8	+	143	++	110	0
4月	+1.2	+	117	0	83	-
5月	+1.8	++	67	-	126	++
6月	-0.3	0	99	0	87	-
7月	-0.1	0	199	++	86	-
8月	-0.1	0	141	+	94	0
9月	-1.5	-	114	+	96	0
10月	0.0	0	34	--	142	++
11月	+2.0	++	173	+	78	--
12月	+1.8	++	204	++	95	-
年	+0.5	+	123	++	99	-

-- かなり低い(少ない) - 低い(少ない) 0 平年並、+ 高い(多い) ++ かなり高い(多い)

階級は、平年からの偏りの程度を表しています。

### 近畿地方の梅雨

梅雨入りは6月3日ごろで平年より早く、梅雨明けは7月24日ごろで平年より遅かった

6月上旬から梅雨前線が西日本の南岸に停滞することが多く、近畿地方では6月3日ごろに梅雨入りし、平年<sup>1</sup>より早くなりました。この傾向は7月上旬まで続きました。7月中旬には太平洋高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、台風第11号や湿った気流の影響で晴れの日が続きませんでした。7月下旬になると太平洋高気圧の張り出しに伴って晴れた日が多くなり、近畿地方では7月24日ごろに梅雨明けし、平年<sup>1</sup>より遅くなりました。

梅雨時期の降水量(6~7月)<sup>2</sup>は、平年比144%でかなり多くなりました。

表 2：近畿地方の梅雨時期の降水量(2015年6~7月)

	実況値(mm)	平年値(mm)	平年比(%)
豊岡	297.5	336.8	88
舞鶴	402.5	350.4	115
彦根	427.5	408.2	105
京都	679.5	434.4	156
神戸	585.0	333.7	175
姫路	529.0	331.6	160
洲本	591.5	340.6	174
大阪	554.0	341.5	162
奈良	458.0	353.9	129
和歌山	511.0	333.5	153
潮岬	1063.5	642.5	166
近畿地方	-	-	144

1 梅雨入りの平年は「6月7日ごろ」、梅雨明けの平年は「7月21日ごろ」となります。

2 梅雨時期の降水量は、例年梅雨の期間に該当する6~7月の観測値を用いています。

### 接近した台風

近畿地方に接近した台風は、第11号、第15号、第18号の3個(平年は3.2個)

## 2. 近畿地方気象官署等の観測表と順位（2015年）

表3：年平均気温と順位（10位まで記載）

	年平均気温				
	気温(°C)	平年値(°C)	平年差(°C)	順位(高い方から)	統計開始年
豊岡	14.9	14.3	+0.6	6	1918
舞鶴	15.0	14.5	+0.5	7	1947
彦根	15.5	14.7	+0.8	3	1893
京都	16.6	15.9	+0.7	4	1880
神戸	17.3	16.7	+0.6	3	1896
姫路	15.8	15.2	+0.6	6	1948
洲本	15.7	15.5	+0.2	-	1919
大阪	17.2	16.9	+0.3	9	1883
奈良	15.5	14.9	+0.6	4	1953
和歌山	17.2	16.7	+0.5	7	1879
潮岬	17.6	17.2	+0.4	8	1913
近畿地方	-	-	+0.5	7	1946

表4：年降水量と順位（10位まで記載）

	年降水量				
	降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	順位(多い方から)	統計開始年
豊岡	2017.5	2027.1	100	-	1918
舞鶴	2026.5	1826.6	111	-	1947
彦根	1784.0	1570.9	114	-	1893
京都	2042.5	1491.3	137	5	1880
神戸	1578.0	1216.2	130	-	1896
姫路	1641.0	1199.0	137	5	1948
洲本	1826.0	1406.6	130	-	1919
大阪	1648.5	1279.0	129	-	1883
奈良	1512.0	1316.0	115	-	1953
和歌山	1537.5	1316.9	117	-	1879
潮岬	3241.5	2519.0	129	10	1913
近畿地方	-	-	123	10	1946

表5：年間日照時間と順位（10位まで記載）

	年間日照時間				
	日照時間(h)	平年値(h)	平年比(%)	順位	統計開始年
豊岡	1522.8	1489.4	102	-	1918
舞鶴	1611.2	1538.8	105	-	1947
彦根	1858.7	1825.8	102	-	1895
京都	1793.0	1775.1	101	-	1890
神戸	1988.4	2072.6	96	-	1898
姫路	1960.2	2032.6	96	-	1948
洲本	1962.7	2066.8	95	-	1919
大阪	2006.2	1996.4	100	-	1890
奈良	1738.7	1823.0	95	-	1953
和歌山	1964.8	2088.8	94	-	1890
潮岬	2177.7	2201.2	99	-	1913
近畿地方	-	-	99	-	1946

各月の天候のまとめは、以下 URL の「近畿地方における過去の天候」を参照してください。

URL：<http://www.jma-net.go.jp/osaka/kikou/chihou/chihou.html>